

46) グラフの大きさは、棒グラフ等の中の数字や文字が十分な大きさを確保できる大きさにする。特に、棒グラフでは、棒の長さよりも巾をとることによって文字拡大が可能になることがポイントである。

徳島県徳島市では、建設省の吉野川可動堰計画の賛否を問う住民投票が、2000年1月13日告示され、23日に投票が行われました。これに先だって、徳島市のタウン情報誌の出版社が、投票資格のない未成年者を対象に模擬住民投票をよびかけました。「大事な問題を大人だけに任せないで」とうったえ、郵送やインターネットなどで受け付けたものです。

1998年11月、ある市民団体が住民投票条例の制定を求めて署名運動をした際、選挙権がないにもかかわらず、高校生らが独自の署名集めをしたことに注目し、編集長らが今回の模擬投票を企画したのです。

締め切り日までに、はがき、インターネット、ファクシミリを通じて、全国から1743人の投票がありました。中学生も73人が投票しました。結果は、反対が1638票(94%)の圧倒的多数をしめました。

ちなみに、1月23日の住民投票の結果は、最終投票率55.0%で、賛成9367票、反対10万2759票(91%)でした。

住民投票と民主主義との関係について考えてみましょう。

地球環境問題などの地球規模の問題解決への貢献



人的支援をふくんだ、地域紛争の平和的解決に向けた努力などの国際平和の維持への貢献



難民・避難民（特に子どもや女性）に対する人道的な支援



自由・民主主義などの普遍的価値を守る国際努力



世界経済の健全な発展への貢献



開発途上国の発展のための協力



世界の文化遺産の保存協力等の国際文化交流での貢献



わからない、その他



[1999年調査] (複数回答)

日本の果たすべき役割 (総理府世論調査 2000年)

動きが日本に直接影響をあたえることが、ますます多くなっています。そのなかで、日本が平和主義の原則に立って、いかに世界に貢献し、世界の人々がより公平に豊かになっていくのかを考えることが、不可欠になっています。

- 5 同時に、日本の民主主義をさらにパワーアップすることが、重要になってきました。民主主義は、どこかで完成するものではありません。民主主義が維持されるためには、人々が、民主主義の完成をめざして努力しつづけることが大切なのです。そのために最低限必要なことは、政治に不信感だけをもつのではなく、政治に関心をもち、自分の意見を表現することです。日本が世界から尊敬されるためには、日本の民主主義の政治をよくして、それが世界の民主主義の見本になることが求められているのです。21世紀は、民主主義の競争の時代でもあるのです。

近年、自分たちが住む地域の具体的な問題の解決をめざした小さな政党の活躍がさかんになっています。これらはローカルパーティ（地域政党）とよばれ、インターネットなどを積極的に活用しながら住民どうしのつながりを大切にした活動を展開しています。ローカルパーティは、情報化社会が生み出した新しい動きです。

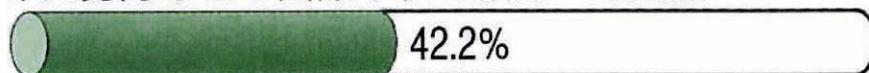
原本の棒グラフについて、拡大本では、拡大して、棒グラフのなかの数値（%）がよく見えるようにしています。

↓ 日本の果たすべき役割（総理府世論調査 2000年）

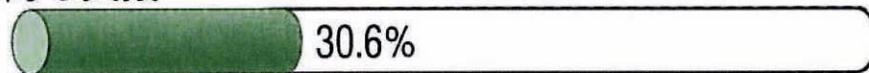
地球環境問題などの地球規模の問題解決への貢献こうけん



人的支援をふくんだ、地域紛争の平和的解決に向けた努力などの国際平和の維持への貢献いじへん



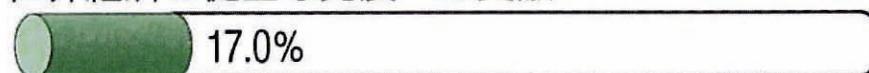
難民・避難民（特に子どもや女性）に対する人道的な支援



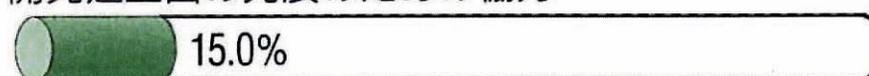
自由・民主主義などの普遍的価値を守る国際努力ふへん



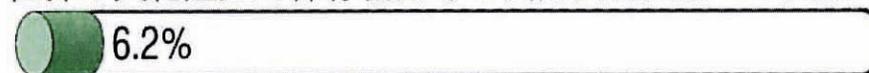
世界経済の健全な発展への貢献



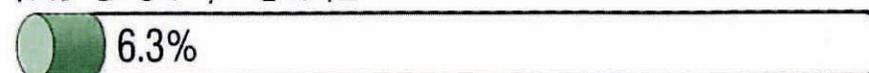
開発途上国の発展のための協力



世界の文化遺産の保存協力等の国際文化交流での貢献いざん ほそん



わからない、その他



[1999年調査]

(複数回答)